



ラーチャブルック ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

新しい教科書とインターネットでつながる世界

第1小学部 教頭 野坂 佳孝

1 心を込めて手わたす新しい教科書

平成元年に新採用教員になった私は当時の学年主任から「新しい教科書は心を込めて渡すこと。新しい教科書に傷があったり、折れ曲がりがあったりしたら、子供は悲しくなるでしょう。細心の注意を払って手わたしてください。」という教えを受けました。

本校では、4月16日から24日まで「ドライブスルー方式教科書配付」を実施しました。各学年の教員が教科書をセットし、手作りフェイスシールドやマスク等で感染症対策をして、お渡しすることができました。その姿に、今は亡き学年主任の教えを思い出していました。新型コロナウイルス感染症で不安を抱える中、ご来校いただきました保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2 インターネットを活用した在宅学習

5月1日より開始した「インターネットを活用した在宅学習」は、教員があらかじめ資料や音声・動画などをアップし、子供たちが都合のよい時間帯にアクセスして受講する「オンデマンド型授業」です。理解するまでに何度でも学習に取り組むことができ、ネットワーク障害による中断のリスクが無いというメリットがあります。最初は大人の手を借りることが必要になると思いますが、規則正しい生活習慣を身につけ、学習を継続させるための道具として活用してほしいと思います。

学校教育「全体」がインターネットを通じて実施することは世界的に例が無く、先進的に取り組んできた各国でも試行錯誤の中にあると聞いています。求められることは、①まずは試して、子供、教

員、保護者が ICT でのコミュニケーションに慣れる、②試したことを日々見直す、自作にこだわらず、より良いものがあれば活用するという姿勢です。新型コロナウイルス感染症の影響が今後どうなっていくかは予断を許しませんが、リアルとオンラインを組み合わせて、子供たちの学びを実現していきたいと考えております。

3 インターネット卒業式の思い出

平成7年、下北半島にある小学校で勤務していた私は情報教育担当となりました。地域の方々から協賛金を集め、子供たちのためにインターネットシステムを導入してくださったのです。最初は大人の用意した企画（他県の小学校との遠隔テレビ会議システム授業、ハワイのすばる天文台との中継等）に物珍しきで参加するだけだった子供たちが、使い方に慣れてくるとネットを通して出会った人や課題に「おやおやと驚き、なぜ？と不思議がり、わかるまで調べ、こうかもしれないぞと考え、確かめたことやってみたことを教え合う」そんな子供へと変わってきたのです。

アメリカ縦断幌馬車の旅を配信していた冒険家は帰国後、そんな子供たちに会いたいと来校してくれました。また、昔の下北半島の風景をネットで調べ版画づくりに挑戦した子供たちには版画家の夫人から全集が届き、それを参考に卒業制作を完成させることもできました。インターネットを「調べる、表現する、人とつながる道具」として活用できるようになったのです。

3月の卒業式、子供たちはインターネット活用で学びを支援してくださった方々を招待し、テレビ会議システムによる「インターネット卒業式」を

開催。青森と世界がつながり、卒業式に参列していただくことができました。20年前の教え子たちがインターネット卒業式で朗読した詩人 工藤直子さんの詩『あいたくて』を紹介します。

「だれかに あいたくて なにかに あいたくて
生まれてきた
そんな気がするのだけれど / それか だれなの
か なになのか
あえるのは いつなのか おつかいの とちゅう
で 迷ってしまった子どもみたい
とほうに くている / それでも 手のなかに
みえないことづけを
にぎりしめているような気がするから それを手
わたさなくちゃ だから /
あいたくて 」

「みんながあえる日」に向かって試行錯誤を繰り返して、このピンチをチャンスに変えて再びあえる日まで、保護者の皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

バンコク日本人学校のこいのぼりは子供たちが来る日を願って中庭で泳いでいます。そして、新型コロナウイルス感染症と戦っている多くの関係者へエールを送っています。



学校からのお知らせとお願い

- 1 在宅学習中、学校からの連絡は学年の「Google Classroom」でご案内しております。保護者の皆様には毎日ご確認いただきますようお願いいたします。
5月7日付配信保護者の皆様へのお手紙「第2回配付（教材）について」でお知らせしておりますが、5月25日（月）より教材等の配付が予定されております。詳細につきましては、各学年の「Google Classroom」またはホームページ（PDFにパスワード設定有）でご確認願います。なお、一部記載のミスがありました。誠に申し訳ありませんが、以下ご確認願います。
【13時45分を、3日間とも13時15分に訂正願います。】
- 2 在宅学習中のお子様に関する相談窓口『ココロの相談』を開設します。
近日常に各学年の「Google Classroom」にてご案内いたしますので、詳細はそちらをご覧ください。
- 3 **中学部の学年表記について**：本校は小学生から中学生まで在籍しております。対外的には“中学部1、2、3年”と表記しますが、校内では「7年」「8年」「9年」と表記していただきますようお願いいたします。

○学校の教育活動について Q&A

Q1 いつから児童生徒が登校しての教育活動を再開できますか？

A. 本校はタイの法律に基づくタイの私立学校であり、タイ政府の登校禁止措置が解除されない限り登校を再開することはできません。現時点では、同措置の期日は6月末日となっていますので、それが延長されない場合には、7月1日から登校を再開することができるようになる見込みです。ただし、同措置が延長される可能性もありますので、現時点ではっきりとした登校再開時期の見込みをお伝えすることはできません。

本校といたしましても一日も早い登校と通常授業の再開を望んでおりますが、一方で児童生徒の安全を確保することも非常に重要です。登校できるようになった場合でも、以前のような全校一斉登校という形ではなく、学年あるいは学級ごとの「分散登校」という形での再開が必要となります。従って、当面は「在宅学習」と「分散登校」を併用することになる予定です。その後、タイ政府からの指示に従いながら、新型コロナウイルスの蔓延状況の推移等を考慮して、徐々に通常の教育活動に戻って行きたいと考えています。

なお、登校再開後も検温や消毒等の防疫措置を講じますが、現時点での知見では、今回の新型コロナウイルスの感染リスクを完全に排除することは不可能です。従って、登校再開後に実際にお子様を登校させるかどうかのご判断は各ご家庭にお任せいたします。仮にお子様を登校させないという選択をされた場合でも、欠席扱いにはいたしませんし、評価等でも不利益を被らないような配慮をさせていただきます。なお、登校再開後も、在宅学習用「Google Classroom」での各種配信や自立学習支援プログラム「すらら」の活用を継続いたします。

詳細に関しましては、登校の再開を決定した段階で改めてご連絡をさせていただきます。

Q2 1学期に予定されていた行事や今年度予定の行事はどうなりますか？

A. 令和2年4月2日の保護者宛文書「令和2年度1学期開始予定等について（お知らせ）」で、“1学期に予定されている各行事に関して延期または中止の方向で検討している。”とお伝えしました。現在、タイの学校では50名以上が集まることを禁止しております。しかし、今後、このような規制が緩和された際には、以下のような方向で学校行事が実施できるかについて検討を進めております。

○宿泊を伴う行事：5年の臨海学校、6年修学旅行及び8年修学旅行（国内に変更）は、2学期以降、実施可能かどうかを含めて検討しています。

○校外学習：2学期以降、実施可能かどうかについて検討しています。

○運動会／体育祭：これまでのような大規模な開催はできません。児童生徒が楽しみながら体を動かす内容で、参観者なしの平日開催、それも分散開催を検討しています。

○健康診断：分散登校の際に、検診時の待機者が滞留しないよう工夫しての可能な項目のみでの実施を検討しています。

○授業参観や懇談会：現在のところ、多くの保護者の皆様が参加しての行事は難しいと

考えております。1年生と7年生については、入学式立看板の前で写真撮影ができるような場を設定したいと考えております(入学記念としてクラス集合写真を撮影する予定です)。

○面談：1学期中は学校から教員による電話連絡(9年生は別計画で面談を実施予定)、2学期以降に個別面談を実施できればと考えております。

○その他：交流学習会をはじめ職場体験学習、合唱コンクール等の行事は、今年度、中止の方向で検討しています。

Q3 在宅学習が中心となる中で、1学期の通知表(評価)はどうなりますか？

A. 通知表は、児童生徒の学校におけるようすを保護者の皆様にお伝えるためのものです。

1学期は在宅学習が中心となりますが、在宅学習で努力したことや今後に向けてのアドバイス等を所見欄に記入していく予定です。また、保護者の欄につきましては、ご家庭における学習や生活の様子、健康等についてこれまで以上に詳しくご記入いただき、学校にお知らせいただけましたら幸いです。

1学期の評価(評定)については小中学部それぞれ以下のように考えております。

○小学部：小学校では今年度から新学習指導要領による教育が本格的にスタートします。

新学習指導要領においては、3つの柱である「個別の知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」に対応した形で評価します。具体的には、ノートや課題への取り組みなどを「学びに向かう力」として、また家庭で実施した単元テストに加えて、登校ができるようになってから1学期の復習のテストを実施し、「知識や技能」「思考・判断・表現」の評価を出します。

○中学部：在宅学習での提出物や小テスト、また授業再開時に実施予定の定期テスト等を総合し、各教科4観点(5観点)で評価し、さらに評定を出していきます。

Q4 夏休みはどうなりますか？

A. タイでは、本校が現在実施している在宅学習の時数をそのまま授業時数としてカウントすることが公式に認められています。今年度の1学期は学校行事に割かれる時数がほとんどないため、このまま在宅学習を継続した場合には、1学期の開始時期が2週間遅れたにもかかわらず、7月末で1学期の必要授業時数を上回ることができる見込みです。各ご家庭におかれましては、記録が必要となりますので、一日の在宅学習を終えたら学習の振り返りカード(在宅学習のしおり)に必要な事項をご記入いただき、保護者の方のサインをお願いいたします。

日本では夏休みをなくして授業をする等、いろいろな案が出ておりますが、本校としましては、当初の予定(8月2日)から10日間遅れ(1学期始業式が5月1日になったため)の8月12日(水)の「母の日」から夏休みということで調整をしております。ちなみに、2学期始業式は9月1日(火)です。

Q5 学校再開後、新型コロナウイルス感染者が出た場合どうなりますか？

A. 本校内で感染者が発生した場合には、直ちにタイ政府に報告し、その指示に従うこととなります。状況にもよりますが、臨時休校をして施設を消毒することになると思われま。保護者の皆様には、感染者のプライバシーに配慮をした上で、状況のご説明をさせていただきます。

本校児童生徒・教職員の同居者に感染者が出た場合には、当該児童生徒・教職員には自宅待機をしていただきます。待機期間や解除条件等の詳細は、登校の再開のご連絡の中でご説明をさせていただきます。

今回の新型コロナウイルスは、現時点での知見では、どんなに気を付けていても感染するリスクを完全に排除することはできません。従いまして、本校関係者に感染者が発生した場合でも、決していじめ等の非人道的な事象が発生しないよう、ご家庭におかれましてもご理解・ご協力をお願い申し上げます。

Q6 現在、日本人学校の教員はどのような状況（体制）ですか？

A. タイ政府は4月27日、新型コロナウイルス感染症対策の非常事態宣言を5月末まで延長しました。これにともない、出入国規制と国際線旅客機のタイ国内の空港への着陸禁止を5月末まで延長しました。その結果、令和2年度派遣教員61名の着任は、早くても6月以降になってしまいました。また、来タイできたとしても2週間以上は待機となり勤務はできなくなることが予想されます。このような状況の中、現在、本校はバンコクに残っている約半数近くの職員で、教科書や教材の配付、在宅学習の準備等を進めてきております。また、タイ教育省の指示で在宅勤務を基本としており、一部職員が交代で出勤して保護者からのお問い合わせへの対応や文部科学省をはじめとする各機関への報告、各業者との交渉等を進めているのが現状です。保護者の皆様には十分な対応ができず誠に心苦しいところですが、ご理解を賜りますようよろしくお願いたします。

また、今回のようなネットを通じた在宅学習につきましては、初めての試みで、試行錯誤をしながら進めているのが実情です。保護者の皆様にはいろいろとご不便をおかけするところは多々あるかと存じますが、電話でのお問い合わせではなくメール（tjas@tjas.ac.th）でいただけますよう重ねてお願いたします。